

更年期障害(うつ)

患者様情報

来院されるまでの症状

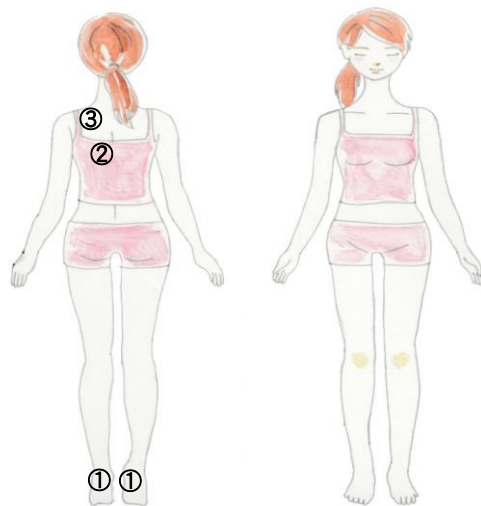
- ・閉経前は体力に自信があり、病気知らずの生活を送っていたそうです。
- ・ある時からケータイゲームに熱中するようになり、睡眠時間や食事を疎かにする生活が半年程続いていて、気が付いた時には、重度の不眠症、食欲不振、うつの症状が出ていたそうです。
- ・特に不眠症が深刻で、1日に10回以上の中途覚醒があり、怖い夢を見てしまうことが多く不安神経症になったと考えられます。現在、睡眠薬と抗うつ剤を服用中。
- ・ひとつのことに熱中するタイプの患者様で、更年期障害のうつを徹底的に治療しようと、複数の治療法を

患 者 様	50 代 女性
初 診	2021 年 11 月
既 往 症	盲腸、閉所恐怖症、左肩関節炎
他 の 症 状	首こり、肩こり、不眠症

四診と経過

■ 診療（診断と施術）

- ・初診時、食欲もなく、重度の不眠症のため生命力が著く低下しているようにみえました。
- ・左の肩関節炎があるため、左肩の筋緊張があり、手の置き場がない様子でした。
- ・全体的に優しい鍼で身体を整える鍼を施して、左肩を中心に、筋緊張が出ているところに少しだけ刺激のある鍼をしていきました。
- ・不眠症の特効穴である「失眠」に熱さを感じるまでお灸を据えました。



■ 初診後の経過

- ・初診後、皮膚に艶が出て、生命力の低下した感じは取れましたが、ご自身はあまり変化を感じなかったようです。
- ・2回、3回と治療を継続していくと、睡眠も中途覚醒は激減し、食欲もビュッフェに行けるほど改善してきました。
- ・現在、症状は落ち着いていますが、「薬を減らしたい」とおっしゃって、週一度の治療を継続してます。

使用した主要なツボ

- ①失眠（シツミン） ②膏肓（コウコウ）
③肩井（ケンセイ）

■ ひとこと添えさせていただきます

- ・閉経して、エストロゲンが減少することにより様々な身体の不調が現れます。
- ・今回のように、うつ、不安神経症のほかにも、なんだかやる気が起きないなど、“明らかな身体的原因が認められないにもかかわらず、頭痛や筋肉痛、腰背部痛、疲労感、腹痛、悪心、食欲不振など多彩な症状を訴え続ける状態”を「不定愁訴」といいますが、この病名をつけにくい症状群（不定愁訴）にも、